

2023年8月のパナマの内政及び外交につき、以下のとおり報告する。

1 内政

(1) 2024年選挙

ア 政党連合

(ア) 3日、ロンバナMOCA党首とエディソン・ブロセ・パナマ市長候補（無所属）は連合を結成。

(イ) 8日、レオンPRD事務局長とアレマンMOLINERA会長は政党連合結成にかかる覚書に署名。

(ウ) 13日、RM党とALIANZA党が政党連合結成を発表。

(エ) 16日、ブランドン・パナメニスタ党党首は、CD党、PAIS党との政党連合にかかる協議の進展について言及。同政党連合には、MOCA党、PP党も加入させ大きな政党連合にすべきと主張。

イ パナマ市長選

PRD党からは現ファブレガ市長が再選を狙い出馬

ウ 世論調査

8月31日に当地ラ・プレンサ紙に掲載されたOMG-The Marketing Groupにより実施された2024年大統領選挙に関する世論調査結果は以下のとおり。（調査実施期間：8月17日～27日、対象：全国1262人、誤差±2.76%）。

(ア) 本日、大統領選挙が行われたとしたら、誰に投票するか？（一人のみに投票可能）

・マルティネリ党首（RM党）	37%
・トリホス党首（PP党）	8%
・ルークス党首（CD党）	7%
・ロンバナ党首（MOCA党）	6%
・カリソ副大統領（与党PRD）	5%
・ブランドン党首（パナメニスタ党）	4%
・スライ・ロドリゲス議員（無所属）	3%
・マリベル・ゴルドン教授（無所属）	1%
・メリトン・アロチャ元貿易産業大臣（無所属）	1%以下
・ホセ・アルバレス党首（PAIS党）	1%以下
・白票	1%
・答えたくない	2%
・分からない	16%
・無回答	10%

(2) 内政

ア ブルーアップル事件：11日及び14日、マルティネリ子息二人が中米議会の補欠議員に就任すべく中米議会で審議されるも、出席者が不足し未遂。16日、オン

ライン議会において両者は中米議会議員に選出された。両者はブルーアップル事件及びオデブレヒト事件にかかる裁判に出頭予定。

イ 所有権失効法：14日、治安省は前期国会で否決となった所有権失効法案を再度国会に提出。

ウ 燃料ーガロンの料金3.52ドル据え置きは9月15日まで継続が決定。

エ 10日、テワニー外相は五つの法案①東南アジアとの友好・協力協定、②国際水路機関にかかる法、③ホンジュラスーパナマ間科学技術協力合意、④イベロアメリカサイバー犯罪調査協力にかかる法、⑤イベロアメリカ法務大臣会議メンバー国間の合同調査にかかる取り決めに国会に提出。

2 外交

(1) 二国間外交

ア 7日、テワニー外相とフランコ外務次官は米国のアダム・スミス議員（国防委員会）一行を迎え、安全保障分野や移民危機対策における協力につき協議。

イ 8日、サウジアラビアのハーリド・アル・ファーリハ投資大臣がパナマを訪問。テワニー外相、アルファロ貿易産業大臣が一行を迎え、両国関係強化のため投資誘致。

ウ 17日、コルティソ大統領は米国に対して正式に自由貿易協定の内容見直しを要請。

エ 22日、コルティソ大統領は米国サルド・カルバハル議員、ヒラリー・スコルテン議員、リンダ・ファガン米国国境警備長を迎え、麻薬取引、違法漁業の取り締まり、海上安全保障、不法移民対応につき協議。

オ 28日、日本国際協力機構（JICA）のパナマにおける活動60周年を記念するドキュメンタリー動画上映会が開催され、オテロ外務次官が出席。

(2) マルチ外交

ア 民主主義開発同盟（コスタリカ、ドミ共及びパナマで構成）は、エクアドルにおける大統領候補暗殺を懸念する声明を发出。

イ 15日、テワニー外相は、中米議会議員に裁判免責特権を与える制度に疑義を唱え、中米議会改革の必要性を主張。

ウ 23及び24日、パナマで第4回移民に関する地域会合及び移民に関する南米会合を開催。

エ 28日、コルティソ大統領は、コロニアル横断ルートの世界遺産登録に向けた調査のため専門家を迎えた。第一フェーズはサン・ロレンソ城、クルーズ・ロード、旧市街及びパナマ・ビエホ遺産の世界遺産登録を目的としている。続いて第二フェーズとしてポルト・ベロ、カミノ・レアルの世界遺産登録を目標にしている。